

【10-2-2】 履修モデル（現代社会学部現代社会学科）

現代社会学部は、以下のような 3 つの履修モデルを提示しますので、卒業後の進路や希望する就職先などを念頭に、履修する科目の選択し、系統的な学修を進めるための参考にしてください。

「民間企業」モデル	
将来めざす人材像	わが国の経済社会や中部圏の発展を支えるため、民間企業やビジネスの世界で生きる社会的教養と経済社会に関する専門知識を身につける。
履修モデルの考え方と履修科目	<p>○専門基礎科目（7科目のうち5科目10単位必修、残り2科目も履修指定）</p> <p>○基幹科目 〔経済に近い社会学分野、経済学・経済政策分野、法律・地域分野〕 ：社会学理論、地域社会学、産業社会学、社会政策論、経済社会学、現代経済分析、経済政策論、現代産業論、日本経済入門、民法入門、名古屋都市論</p> <p>○展開科目 〔おもに＜経済社会と企業＞と法律・政策分野から選択し、履修〕 ：現代経済学、統計学、金融論、国際経済学、現代経済学、統計学、金融論、国際経済学、日本経済論、日本経済史、現代企業史、企業経済論、地域経済論、ものづくり経済論、起業経営論、社会的企業論、企業研究1、企業研究2、労働経済学、環境経済論、財政学、公共経営論、都市政策論、社会生活と法1・2、商法、会社法</p> <p>○関連科目 ：スキル系科目、＜留学&インターシップ＞ 中長期インターシップ</p> <p>◇現代社会を学ぶアイテム ＜現代企業&イノベーション＞ ＜都市創造マネジメント＞ ＜コミュニケーション&心理＞ ＜観光プロデュース&まちづくり＞ </p>

「公共・公益・民間非営利」モデル	
将来めざす人材像	公共機関、公益法人、NPO などの民間非営利団体で活躍できる基礎的教養と現代社会に関する専門知識を身につける。
履修モデルの考え方と履修科目	<p>○専門基礎科目（7科目のうち5科目10単位必修、残り2科目も履修指定）</p> <p>○基幹科目 〔公共に近い社会学分野、経済学・経済政策分野、地域・法律分野〕 ：社会学理論、地域社会学、家族社会学、社会心理学、文化人類学、社会政策論、経済社会学、現代経済分析、経済政策論、民法入門、名古屋都市論</p> <p>○展開科目 〔おもにく社会制度と政策>と地域・法律分野から選択し、履修〕 ：財政学、政治学1、政治学2、行政学、公共経営論、都市政策論、文化政策論、行政法、共生社会と法、社会生活と法1・2、商法、会社法、経済社会と倫理、福祉社会論、地域経済論、社会保障論、情報社会論、地域社会と法、地域コミュニティ論、観光まちづくり論、ひとまちづくり論、都市デザイン論</p> <p>○関連科目 ：スキル系科目、<留学&インターシップ> 中長期インターシップ</p> <p>◇現代社会を学ぶアイテム <都市創造マネジメント> <観光プロデュース&まちづくり> <コミュニティデザイン> <ヒューマンケア&共生></p>

幅広い分野にわたる専門科目をバランスよく履修できるとともに、「将来をめざす姿」に対応した3つの履修モデルを用意。

「民間企業」モデル

中部圏の発展を支えるため民間企業やビジネスの世界で生きる社会的教養と経済社会に関する専門知識を身につける。

「社会性の高いビジネス」モデル

ソーシャルや地域、人間関係、家族などの場面に関わるビジネスや社会性の高い企業・組織で活躍できる専門的能力を身につける。

「公共・公益・民間非営利」モデル

公共機関、公益法人、NPOなどの民間非営利団体で活躍できる基礎的教養と現代社会に関する専門知識を身につける。

現代社会を学ぶ7つのアイテム
 アプローチしやすい数の科目で構成された履修パッケージです。

- コミュニケーション&心理
- ヒューマンケア&共生
- ライフプラン&家族
- 観光プロデュース&まちづくり
- コミュニティデザイン
- 現代企業&イノベーション
- 都市創造マネジメント